

令和7年度 学校経営・運営ビジョン

須賀川市立阿武隈小学校

総合的で調和のとれた教育の展開

- 目標達成を目指し、全職員が一丸となり総合的で調和(体・知・心)のとれた教育活動を展開します。
- 評価・反省を生かして、よりよい教育を提供します。
- 家庭・地域の協力を得て、安全・安心の環境のもと、連携を深めて子どもたちに生きる力を育てます。
- 小中一貫教育を進めます。(学習面・生徒指導面・保健安全面)
- 教職員の資質・能力向上に努めます。

教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる主体的で
創造性豊かな児童の育成をめざす

開かれた学校づくり・評価計画等

- 学校経営及び学年・学級経営について、保護者に説明をして理解を図ります。
- ホームページ、一斉メール、便り等による情報発信に努め、開かれた学校づくりを推進します。
- 校内の評価・反省とともに、子ども・保護者による学校評価を実施し、結果を保護者に公表します。
- 学校評議員に学校経営に関する諮問をします。

あかるく元気な子ども を育てます

すすんで学ぶ子ども を育てます

力を合わせやりぬく子ども を育てます

- 1 元気に登校し、楽しく仲良く安全に生活できる子どもにします。
- 2 運動能力、体力向上をめざし、積極的に取り組むことができる子どもにします。

☆元気に登校し、楽しく仲良く安全に生活できる子どもにします。

①元気で、明るく温かいあいさつの励行

- 場に応じたあいさつや明るいあいさつができるよう指導します。
- 温かい言葉遣いを心掛けるようあらゆる機会に指導します。

②自らの命と健康を守るための教育の充実(安全教育、保健教育、食育、放射線教育等)

- 重大事故「ゼロ」をめざし危機回避力を高める指導に取り組みます。
- 交通のルールを守り、安全に登下校できるよう繰り返し指導します。(登校班指導・集団下校指導)
- 健康教育を充実させます。(食育の授業、心の教育、放射線教育授業、よりよい生活習慣形成のための取り組み)

③安全・安心な教育環境の確保

- 日常の安全点検に努め、安全な環境づくりに取り組みます。
- 校舎内の適切な衛生管理に努めます。
- 消毒と換気に努め、感染症予防に取り組みます。

☆運動能力、体力向上をめざし、積極的に取り組むことができる子どもにします。

①体育科の授業の充実

- 運動身体作りプログラムを継続して実施します。
- 授業での一人ひとりの十分な運動時間を確保します。
- 必達目標(学年ごとの習得すべき技能)の達成率を向上させます。

②日常的な体力づくり

- 朝の会や長い休み時間に運動する時間を設定し、取り組ませます。
- 進んで運動に取り組めるよう、運動の楽しさを味わうことができる授業を工夫します。

数値目標

○ アンケート

児童「進んであいさつをする」の項目90%以上

保護者「規則正しい生活をしている(早起き・早起き・朝ごはん)」の項目90%以上

児童「進んで運動している」の項目90%以上

- 1 互いの気づきや考えを大切にしながら、自分の考えを持ち、表現できる子どもにします。
- 2 読書に積極的に取り組む子どもにします。

☆互いの気づきや考えを大切にしながら、自分の考えを持ち、表現できる子どもにします。

①「わかる・できる」授業の充実

- ペアやグループ学習など、友達と関わらせながら、学習を進めます。
- 日々の授業で子どもを見取り、授業の改善に努めます。
- 教師の見取り力高める授業研究を充実させます。

②「ふるさと学習」の充実

- 生活科や総合的な学習の時間を中心に、ふるさとに関する授業を展開します。
- 自ら課題を持ち、解決する学習に取り組み、調べたことを発表する場を確保します。
- ムシテックワールドでの学習を行います。

③家庭学習の習慣化

- 「家庭学習の手引き」を活用し、習慣化を図ります。
- 家庭と連携し10分×学年+10分の家庭学習に取り組ませます。

④特別支援教育の充実

- 個に応じた指導の充実と努め、必要に応じ個別の指導計画を作成し活用します。
- 須賀川支援学校との連携・交流学習に取り組みます。

☆読書に積極的に取り組む子どもにします。

①読書活動の充実

- 図書館教育部を中心として読書活動を啓発し、学年必読書の読破に取り組ませます。
- 低学年では週に一度図書室に足を運び、読書習慣を身に付けさせます。
- 学校司書等による読み聞かせを定期的の実施し、読書への関心を高めさせます。

数値目標

○ アンケート

児童「進んで学習をしている」の項目90%以上

保護者「家庭学習をしている」の項目85%以上

児童「本をよく読んでいる」の項目90%以上

- 1 自他を大切にし、互いに協力し合う子どもにします。
- 2 目標を持ち、あきらめずに取り組める子どもにします。

☆自他を大切にし、互いに協力し合う子どもにします。

①互いの人権を尊重する人権教育の充実

- 各教科・道徳・特別活動等で人権教育を意識した授業を行い、人権感覚を高め、よりよい人間関係作りに努めます。また、学級活動でレジリエンス(困難を乗り越える力)を高める題材を実施します。
- Q-テスト(楽しい学校生活を送るためのアンケート)や児童アンケートの結果を活用し、一人ひとりを大切にし合う学級づくりに努めます。
- 学校だより、学年だより、ホームページ等でいじめ防止に対する取り組みを保護者に発信します。

②重点内容(「生命尊重」「思いやり・親切」「公共心・公德心・規則の尊重」等)を中心とした道徳教育の充実

- 「考える道徳」「議論する道徳」を実践し、35時間の「特別の教科 道徳」の授業を充実させます。
- 授業参観で年間1回「特別の教科 道徳」の授業を保護者に公開します。

③異年齢集団活動の充実

- 各教科や特別活動等において異年齢集団活動を実施します。

☆目標を持ち、あきらめずに取り組める子どもにします。

①目標をもった活動の推進

- 高い目標を達成するために、活動を振り返り累積した記録(キャリアパスポート)を活用します。
- 体育科で学習カードを活用し、目標をもって活動する授業に取り組みます。

②自己存在感・自己肯定感を高める指導の推進

- 達成できたこと、あきらめずに取り組んだことを互いに認め合う活動に取り組めます。
- 一人ひとりの良さが生かされるよう、児童会活動や係活動、体験活動等を工夫します。

数値目標

○ アンケート

保護者「学校は思いやりの心を育てようとしている」の項目90%以上

児童「学校は楽しい」の項目95%以上

児童「最後まで頑張って活動している」の項目90%以上

教職員の資
質・指導力
の向上

働き方改革
児童と向き合う
時間の確保

家庭との
連携・協働

地域とと
もにある
学校

学校評価に
よる校務運
営改善

小・中一貫教育須賀川モデルの推進
「自他を尊重し、夢や目標の実現に
向かって努力する子ども」

令和7年度須賀川市学校教育の重点
変化の大きな社会的確に対応で
きる「生きぬく力」を育む

県中教育事務所
「夢」「願い」がかなう教育
の推進